

令和元年度 第43回
東京五美術大学 連合卒業・修了制作展

シンポジウム 『外から見た五美大展』

2020年2月22日(土)
14:00 - 16:00 (13:30 開場)

国立新美術館3階講堂
定員 260名 (先着順)

パネリスト：

黒瀬陽平 (カオス*ラウンジ)

田村かのこ (札幌国際芸術祭2020 コミュニケーションデザインディレクター)

成相肇 (東京ステーションギャラリー学芸員)

長谷川新 (インディペンデント・キュレーター)

藪前知子 (東京都現代美術館学芸員)

モデレーター：

杉田敦 (美術批評, 女子美術大学)

企画担当者：五美大展シンポジウム実行委員会

飯田竜太 (日本大学芸術学部) / 大島成己 (多摩美術大学)

小林耕平 (武蔵野美術大学) / 末永史尚 (東京造形大学)

杉田敦 (女子美術大学) / 富井大裕 (武蔵野美術大学)

五美大以外を出自とする登壇者たちの話は、
五美大展をはじめとする美術大学の卒業制作展の
在り方にとどまることなく、
表現の自由や留学生との関連では東アジアの国情など、
社会の問題にも及ぶことになるはずで
外から向けられる視線は、
五美大展から外に向かう視線でもあります。



杉田 敦
(すぎた・あつし)

美術批評、芸術理論。1957年生まれ。名古屋大学理学部卒業。著書に『リヒター、グールド、ベルンハルト』(みすず書房)、『ナノ・ソート』(彩流社)、『inter-views』(美学出版)、共著に『芸術と労働』(水声社)などがある。「批評家の海岸」(越後妻有アートトリエンナーレ、2009)、『nano school』(2014-19)などのプロジェクトの他、キュレーションに「極小航海時代」(2010-11)などがある。art & river bank ディレクター、女子美術大学教授。国際美術評論家連盟 (AICA)、基礎芸術、会員。



藪前 知子
(やぶまえ・ともこ)

近・現代美術史。1974年生まれ。学習院大学人文科学研究科博士後期課程満期退学。東京都現代美術館学芸員。これまでの主な担当企画に「大竹伸朗 全景 1955-2006」(2006、MOTコレクション)「特集展示 岡崎乾二郎」(2009)、「山口小夜子 未来を着る人」(2015)、「おともももも考える ここはだれの場所?」(2015)、「MOT アニュアル 2019 Echo after Echo: 仮の声、新しい影」(2019)など。そのほかの企画に「札幌国際芸術祭 2017」(2017)、「gallery αM プロジェクト: 東京計画 2019」など。国際美術評論家連盟 (AICA) 会員。



長谷川 新
(はせがわ・あらた)

インディペンデントキュレーター。1988年生まれ。京都大学総合人間学部卒業。主な企画に「バレ・ド・キョート/現実のたてる音」(2015、京都)、「クロニクル、クロニクル!」(大阪、2016-17)、「不純物と免疫」(東京、沖縄、バンコク、2017-18)、「STAYTUNE/D」(富山、2019)など。美術評論家連盟会員、国立民族学博物館共同研究員、日本建築学会書評委員、日本写真芸術専門学校講師、PARADISE AIR ゲストキュレーター。ヴェニス・ビエンナーレ日本パヴァリオン、キュレーター候補 (2019)。



成相 肇
(なりあい・はじめ)

東京ステーションギャラリー学芸員。1979年生まれ。一橋大学言語社会研究科修了。2005年より府中市美術館学芸員、2012年から現職。戦後日本の前衛美術を中心に研究し、マンガ、大衆誌、広告ほか複製文化を含む雑種的な展覧会を企画。主な企画展に「石子順造の世界」(2011-12年、府中市美術館)、「ディスカバー、ディスカバー・ジャパン」(2014年、東京ステーションギャラリー)、「パロディ、二重の声」(2017年、同)など。



田村 かのこ
(たむら・かのこ)

アート翻訳者。1985年、東京都生まれ。2008年タツツ大学土木工学部土木建築専攻卒業、2013年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。アート専門の翻訳・通訳者の活動団体「Art Translators Collective」を主宰し、表現者に寄り添う翻訳の提供と新たな価値創造を試みる。札幌国際芸術祭 2020ではコミュニケーションデザインディレクターとして、展覧会と観客をつなぐメディアエーションを担当する。



黒瀬 陽平
(くろせ・ようへい)

美術家、美術批評家。1983年生まれ。京都造形芸術大学卒業。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士(美術)。作家、批評活動に加え、カオス*ラウンジを主宰。著書に『情報社会の情念 一クリエティブの条件を問う』(NHK出版)。「慰霊のエンジニアリング」(TODA BUILDING 1F, 2019)などのキュレーションの他、2015年からは、ゲンロンと共に「ゲンロン カオス*ラウンジ 新芸術校」を立ち上げ、アート分野におけるこれまでにない人材育成を試みている。

【展覧会情報】

令和元年度 第43回 東京五美術大学 連合卒業・修了制作展
2020年2月20日(木) ~ 3月1日(日)
※ 2月25日(火)は休館 10:00 ~ 18:00 (入場は17:30まで)
国立新美術館
東京都港区六本木 7-22-2
入場無料

東京造形大学
日本大学芸術学部
武蔵野美術大学
多摩美術大学
女子美術大学

日本画
油絵
版画
彫刻

